

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
 - TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
 - FADED TEXT
 - ILLEGIBLE TEXT
 - SKEWED/SLANTED IMAGES
 - COLORED PHOTOS
 - BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
 - GRAY SCALE DOCUMENTS
-

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problems Mailbox.**

DIALOG(R)File 351:DERWENT WPI
(c)1995 Derwent Info Ltd. All rts. reserv.

004416850 WPI Acc No: 85-243728/40
XRAM Acc No: C85-105577
XRPX Acc No: N85-182428

Ink receptive surface and ink jet printing process on substrates coated
with partially hydrolysed PVA or hydroxy cellulose; POLYVINYL ALCOHOL
Patent Assignee: (CANO) CANON KK
Author (Inventor): TOGANO H S; ARAI R; SAKAKI M
Number of Patents: 010
Number of Countries: 005
Patent Family:

CC Number	Kind	Date	Week	
DE 3510565	A	850926	8540	(Basic)
JP 60220750	A	851105	8550	
JP 60245585	A	851205	8604	
JP 60245586	A	851205	8604	
JP 60262685	A	851226	8607	
JP 61010483	A	860117	8609	
JP 61027280	A	860206	8612	
US 4636805	A	870113	8705	
DE 3510565	C	910221	9108	
JP 94041226	B2	940601	9420	

Priority Data (CC No Date): JP 8454524 (840323); JP 8454525 (840323); JP
8476557 (840418); JP 84100679 (840521); JP 84100680 (840521); JP
84119097 (840612); JP 84130944 (840627); JP 84148660 (840719); JP
84148661 (840719)

Applications (CC,No,Date): DE 3510565 (850323); JP 81100680 (810521); JP
84130944 (840627); US 711385 (850313)

Filing Details: JP94041226 Based on JP61010483

Abstract (Basic): DE 3510565

(+23.03.84, 18.04.84, 21.05.84(2), 12.06.84, 27.06.84,
19.07.84-JP-054525, 076557, 100679/80, 119097, 130944, 148660) (1677BZ)
Record receptive material consists of a substrate with an
ink-receptive layer in which the ink is fixed in less than 3 minutes at
20 deg.C and 65% RH when applied to the ink-receptive layer at a rate
of 0.7 microlitres per sq.cm. of the surface. The substrate and
ink-receptive layer are transparent and have a linear transmission
factor of 2% or more. Pref. the ink receptor contains a partially
saponified PVA, esp. a cation modified PVA or a hydroxyethyl cellulose.
An ink-jet printing process is claimed in which small drops of an aq.
ink or inks in several colours are applied to the record receptive
material as described. Pref. the water content of the aq. ink is
between 30-90%, with a viscosity of 20 Cp or less at 25 deg.C.

The substrate may be paper, film, e.g. polyester, cellulose
diacetate, -triacetate, acrylic, polycarbonate, PVC, polyimide or
glass. Partly-saponified PVA (75-86%) may be modified with cationic
gps. e.g. prim., sec. or tert. amino-gps., quaternary ammonium bases or
cationic gps. contg. copolymers of PVA e.g. with o-, m- or p-vinyl
benzenamines or their quat. ammonium salts and other N-vinyl monomers
e.g. N-vinyl pyrrolidone, N-vinyl pyridine.

USE/ADVANTAGE - The products are useful for e.g. overhead
projector slides, contact prints, photomasks for print substrates,
colour separation plates or positive plate printing, colour mosaic

filters for colour indicators with liq. crystals. The material produces high quality images at high speed with no colour migration, high gloss and colour density. @(66pp Dwg.No.0/0)@

Abstract (US): 8705 US 4636805

Record-bearing member having linear transmission factor at least 2% comprises a substrate and an ink receiving layer. The layer consists of partially saponified PVA with saponification degree at least 70 mole% or cation-modified prod. of PVA and hydroxyethylcellulose applied to the substrate in a solvent.

The ink receiving layer can fix ink within 3 mins at 20Deg.C and 65% RH when ink is deosited at 0.7 micro-l per cm².

USE - The member is suitable for ink jet recording and can be used in side projectors, overhead projectors, contact printers, etc. @(14pp)@

Abstract (DE): 9108 DE 3510565

(+23.03.84, 18.04.84, 21.05.84(2), 12.06.84, 27.06.84, 19.07.84-JP -054525, 076557, 100679/80, 1190017, 130944, 148660) Recording material comprises (A) a known substrate and (B) an ink reception layer contg. a cation modified PVA, pref. having a deg. of saponification of 70-90 mol% and contg. 0.05-30 (0.1-20) mol% cationic gps.. The deg. of polymerisation of the polymer is pref. 500-5,000 (800-3,000). The cationic gps. are prim., sec., tert. and/or quat ammonium gps. (B) is also filled with an inorganic pigment. Layers (A) and (B) are light permeable esp. having a linear light transmittance factor of at least 2%.

USE/ADVANTAGE - For recording by droplets of an aq. ink; used in e.g. diaprojectors, contact printers; ink spots of the required size and density having a spherical shape with smooth edges can be obtd.; the material has good ink fixing property and light permeability. @(12pp)@

⑪ 公開特許公報(A) 昭60-220750

⑫ Int.Cl. ⁴	識別記号	庁内整理番号	⑬ 公開 昭和60年(1985)11月5日
B 32 B 27/30	1 0 2	6762-4F	
// B 32 B 17/10		6122-4F	
23/08		6122-4F	
27/28	1 0 2	7112-4F	
B 41 M 5/00		6771-2H	
G 02 B 5/20		7529-2H	
G 02 F 1/133	1 2 6	8205-2H	
G 03 F 1/00		7174-2H	
審査請求 未請求 発明の数 1 (全7頁)			

⑭ 発明の名称 被記録材

⑮ 特 願 昭59-76557

⑯ 出 願 昭59(1984)4月18日

⑰ 発 明 者 坂 木 字 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キャノン株式会社内
 ⑱ 発 明 者 新 井 竜 一 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キャノン株式会社内
 ⑲ 発 明 者 戸 叶 滋 雄 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キャノン株式会社内
 ⑳ 出 願 人 キャノン株式会社 東京都大田区下丸子3丁目30番2号
 ㉑ 代 理 人 弁理士 若 林 忠

明 細 書

1. 発明の名称

被記録材

2. 特許請求の範囲

(1) 透光性基材と、該基材上に設けられたインク吸収層とを有してなる透光性被記録材に於いて、前記インク吸収層が、ケン化度70～90モル％に部分ケン化されたポリビニルアルコールを含むことを特徴とする透光性被記録材。

3. 発明の詳細な説明

本発明は、インクによる記録に用いられる被記録材に関し、透光性とインク吸収性に特に優れ、インクジェット記録用として好適な被記録材に関する。

記録液(インク)を使用して記録を行なう方式としては、一般的なものとしては例えば万年筆、水性ボールペン、フェルトペン等があり、更に最近注目されている記録方式としては、種々の作動原理によりインクの小滴を発生させ、これを被記録材に付着させて記録を行うインクジェット記録

方式が挙げられる。

このインクジェット記録方式は、記録時に於ける騒音の発生が少なく、高速記録、多色記録の行なえることを特徴としている。

このような記録方式に於いては、安全性、記録適性等の面から主に水系のインクが使用されている。

上記のような記録方式に用いられる被記録材としては、従来、通常の紙が使用されてきた。ところが、インクジェット記録方式に用いる被記録材に於いては、記録の高速化や多色化など、インクジェット記録装置の性能の向上に伴って、より高度な特性が要求されるようになってきている。

すなわち、インクジェット記録方式に用いられる被記録材としては、高解像度、高品質な記録画質を得るためには、

1) インクの吸収が可及的速やかであること、

2) インクドットが重なった際に、後で付着したインクが前に付着したインクドットに洩れ出さないこと、

- 3) インクドットの径が必要以上に大きくならないこと、
 - 4) インクドットの形状が真円に近く、またその周辺がなめらかであること、
 - 5) インクドットの濃度が高く、ドット周辺がぼけないこと、
 - 6) インクの発色性が優れたものであること
- 等の要求性能を満たしていることが必要とされる。

このように、インクジェット記録による記録画像が表面画像観測用に使用される一方、インクジェット記録による記録画像を表面画像観測用以外の用途に使用できるような被記録材が要求されつつある。

この表面画像観測用以外の用途としては、例えばスライドやOHP(オーバーヘッドプロジェクター)等の光学媒体により記録画像をスクリーン等に投影して観測するもの、密着プリンター、プリント基板の版下(フォトリソ)、カラー印刷のポジ版を作る際の色分解板、液晶のカラーディ

アット。

本発明はこのような問題に鑑みなされたものであり、その目的は、前述した要求特性を十分に満足し、特にインク吸収性と透光性に優れ、表面画像観測用以外の用途、すなわち記録画像の透過光を利用する、スライド、OHP、密着プリンター等の光学機器での使用が可能であり、インクジェット記録用として好適である被記録材を提供することにある。

上記の目的は以下の本発明の被記録材により達成することができる。

すなわち、本発明の被記録材は、透光性基材と、該基材上に設けられたインク吸収層とを有してなる透光性被記録材に於いて、前記インク吸収層が、ケン化度70~80モル%に部分ケン化されたポリビニルアルコールを含むことを特徴とする。

本発明の透光性被記録材は、透光性基材と、記録時に記録の行なわれる面、すなわちインクを受容する面を有する前記基材上に設けられたインク

スプレー用のCMF(カラーモザイクフィルター)等がけられる。

記録画像が前述した表面画像観測用に使用される場合には、上に記録画像の拡散光が観測されるのに対して、これら用途に用いる被記録材に於いては、主に記録画像を透過する透過光が観測され、あるいは種々の用途に利用される。従って、これら用途に用いる被記録材には、前述した要求性能に加えて、十分に透光性に優れていることが要求される。

しかしながら、これらの要求性能を全て満足した被記録材は、いまだ知られていない。

なかでも、記録画像の透過光を利用するような用途に用いられる被記録材については、十分な記録特性と透光性を同時に満足するものは知られておらず、例えば従来の透光性樹脂フィルム等を、このような用途の被記録材として使用した場合、透光性は優れてはいるもののインク吸収性に劣り、記録後に紙等と記録画像を重ねた場合のインク移りや、記録画像の損傷が起きるという欠点がある。

吸収層とを有し、該インク吸収層の優れたインク吸収性により特徴づけられる。

本発明の被記録材の有する基材としては、透光性の優れた、例えばポリエステル、ジアセテート、トリアセテート、アクリル系ポリマー、セロハン、セルロイド、ポリ塩化ビニル、ポリカーボネート、ポリイミド等のプラスチックからなるフィルム若しくは板、ガラス板等を使用することができる。

本発明の被記録材の有するインク吸収層は、記録時に記録装置や記録器具の記録手段からインクを受容し吸収する部分である。

一般に被記録材によるインクの吸収は、被記録材表面に付着したインクが被記録材組織内の微細な空隙に主に毛管現象により入り込むことによっても行なわれる。このような被記録材のインク吸収に大きな影響を与える要因として、被記録材の構造及び被記録材を構成している材料の物性を挙げることができる。すなわち、被記録材の構造がインクが透過し易い構造であり、かつ被記録材がイ

ンクを吸収し収容するのに適当な空隙容量を有していること、更に、被記録材を構成している材料がインクとの親和性を有していること等が重要となる。従って、用いられるインクが水性であるので、被記録材のインクを受容し吸収する部分を構成する材料に、親水性を有する材料を用いることは、優れたインク吸収性を得るために非常に効果的である。

本発明の被記録材の有するインク吸収層は、主にインク吸収性に優れ、透光性を有する連続被膜を形成することができ、充分な親水性を有する部分ケン化されたポリビニルアルコールを用いて形成される。

本発明の被記録材の有するインク吸収層を形成することのできる部分ケン化されたポリビニルアルコールは、酢酸ビニルのホモポリマー、あるいは酢酸ビニルと、例えば塩化ビニル、エチレン、マレイン酸、イタコン酸、アクリル酸等のビニル系モノマーとのコポリマーを公知の方法により、酸またはアルカリで所定のケン化度にケン化する

ことにより ることができる。

部分ケン化されたポリビニルアルコールは、ケン化の程度(ケン化度)によりそれぞれ水に対する溶解性、親水性、二次転移点温度等の物性が異なり、ポリビニルアルコールによって形成されるインク吸収層のインク吸収性も、そのケン化度に応じて変化する。

本発明の被記録材の有するインク吸収層を形成することのできる部分ケン化されたポリビニルアルコールのケン化度としては、70~90モル%であることが好ましく、より好ましくは75~88モル%であることが望ましい。

すなわち、ポリビニルアルコールのケン化度が70モル%以下である場合、ポリビニルアルコールの親水性は低く、これによって形成されたインク吸収層に充分なインク吸収性が得られず、また、90モル%以上である場合には、ポリマー同志の水素結合による結合が強くなりすぎて、これによって形成されるインク吸収層のインク吸収性は低下する。更に、インクジェット記録用インクは、イ

ンクからの水分の蒸発による目詰まりを防止するためにグリセリン等の多価アルコールを含有しているのが一般的であり、ケン化度が高過ぎるとこれらの多価アルコールのインク吸収層へのなじみが悪くなるので好ましくない。また、ポリビニルアルコールは、温度、湿度によりポリマーの結晶状態や分子のエントロピー的自由度が変化し易く、インク吸収性もこれらとともに変化する。従って、十分実用的な温度、湿度の範囲で良好なインク吸収性を得るためには、ポリビニルアルコールのケン化度が75%~88%であることが好ましい。

ここで言う、ケン化度とは、ポリマー中の全酢酸ビニル基のうちのケン化された酢酸ビニル基の割合いをモル%で示したものである。

このように、本発明の被記録材に於いては、インク吸収層を形成する成分として好適に部分ケン化されたポリビニルアルコールの親水性により、インク吸収層の水性インクに対する親和性が高められ、かつ未ケン化部分によりインクに含まれて

いる多価アルコールに対する親和性も合わせ持っているため、インクの吸収層への浸透が容易に行なわれるようになる。

なお、本発明の被記録材の有するインク吸収層に含有される上記ポリビニルアルコールの重合度は、特に限定されるものではないが、良好な成膜性を得ることのできる程度、すなわち300程度以上であれば良い。

本発明のインク吸収層には、上記の部分ケン化ポリビニルアルコールの他に、例えばデンプン、ゼラチン、カゼイン、アラビアゴム、アルギン酸ソーダ、カルボキシメチルセルロース、ポリビニルピロリドン、ポリアクリル酸、ポリアクリル酸ソーダ、ポリアクリルアミド、エポキシ樹脂等の水溶性高分子、SBRラテックス、MBRラテックス、メラミン樹脂、フェノール樹脂等の樹脂を含有させても良い。

更に、所望に応じて、主に前記インク吸収層のインクの吸収性をより高めるために、充填剤として、例えば微粉ケイ酸、クレー、タルク、ケイソ

ウ上、炭酸カルシウム、硫酸カルシウム、酸化チタン、酸化亜鉛、サチンホワイト、ケイ酸アルミニウム、リトポン、アルミナ、ゼオライト等の無機顔料の1種以上を、また分散剤、蛍光染料、pH調整剤、消泡剤、潤滑剤、防曇剤等の各種添加剤を前記インク吸取層に被記録材の所定の透光性を損なわない範囲内で分散させても良い。

本発明の被記録材は、上記のインク吸取層を形成することのできる各種材料を、適当な溶剤中に溶解若しくは分散させて調整した塗工液を、ロールコーター法、ブレードコーター法、エアナイフコーター法、ロッドバーコーター法等の種々の方法により前述した基材上に塗工し乾燥させる方法やホットメルトコーティング法等により形成することができる。

本発明の被記録材の有するインク吸取層の厚さは、通常乾燥後の厚さが、1~100 μm 程度、好ましくは、4~50 μm 程度なるように形成される。インク吸取層の厚みが厚すぎる場合には、透光性が低下し、またインク吸取層の厚みが薄すぎる場

合には、インク吸取性が低下するので適当でない。

一方、被記録材に記録された画像の透過光を利用する用途、例えばスライド、OHP、密着プリンター等の光学機器に被記録材が使用できるためには、被記録材の透光性が充分なものでなければならない。

例えば、光学機器の代表としてのOHPを用いて記録画像の投影画像を観察する場合、記録部と非記録部とのコントラストが高く、鮮明で見易い画像を得るためには、投影画像に於ける非記録部が明るいこと、すなわち被記録材の直線透過率がある一定以上の水準にあることが要求される。OHPでのテストチャートによる試験から、上記目的に適した画像を得るために、すなわちテストチャートの投影画像に於いて、ピッチ幅0.5 mm、太さ0.25 mmの線が明瞭に判別できるためには、被記録材の直線透過率が2%以上、好ましくは、より鮮明な投影画像を得るためには、10%以上であることが必要である。従って、本発明に言う透光

性被記録材とは、透光性基材とインク吸取層とを合わせた被記録材全体の直線透過率が、2%以上、好ましくは10%以上であるものを言う。

本発明でいう直線透過率(T%)とは、サンプルに入射され、該サンプルを透過し、該サンプルから少なくとも8 cm以上離れた、入射光路の延長線上にある受光側スリットを透過し、検出器に受光される直線光の分光透過率を、例えばJ23型日立日記分光光度計(日立製作所製)などを使用して測定し、更に測定された分光透過率より、色の三刺激値のY値を求め、そのY値を用いて次式より求められる値である。

$$T = Y / Y_0$$

T : 直線透過率

Y : サンプルのY値

Y₀ : ブランクのY値

従って、本発明で言う直線透過率は、直線光に対するものであり、本発明に於ける直線透過率を用いた被記録材の透光性の評価方法は、拡散透過(サンプルの後方に拡散球を設けて拡散光をも

含めて透過率を求める)や、不透明度(サンプルの裏に、白及び黒の裏当てを当てて、それらの比から求める)などの拡散光により透光性を評価する方法とは異なる。光学技術を利用した機器に於いて問題となるのは、主に直線光の挙動であるから、これらの機器に使用しようとする被記録材の透光性を評価する上で、被記録材の直線透過率を求めることは特に重要である。

本発明の被記録材は、必ずしも無色透明を呈する必要はなく、着色透明を呈する被記録材であっても一向にさしつかえない。

以上に説明したような本発明の被記録材に於いては、インク吸取層が有する部分ケン化されたポリビニルアルコールの親水性により、インク吸取層の水性インクに対する親和性が高められ、これによってインク吸取層は、前述した被記録材に対する要求特性のなかでも特にインク吸取性に優れたものとなった。

更に、本発明の被記録材は充分な透光性を有するものであり、インクジェット記録により高速度印

字、多色印字が可能であり、記録された画像を表面観察用以外の用途、すなわち記録画像の透過光を利用するスライド、OHP、密着プリンター等の光学機器に使用するための被記録材として非常に好適なものである。

以下、実施例及び比較例を用いて本発明の被記録材を更に詳細に説明する。

実施例1

基材として、厚さ100 μ mの透光性の親水処理ポリエステルフィルム（帝人製）を用い、インク吸収層として、ケン化度80モル％に部分ケン化されたポリビニルアルコール（PVA-420R クラレ（株）社製）8重量部及び水100重量部からなる組成物をバーコーター法により、インク吸収層の乾燥膜厚が10 μ mとなるように塗布し、これを80℃、10分の条件で乾燥させ記録画像の透過光を利用する用途に用いることのできる本発明の被記録材を得た。

この得られた被記録材に、表1に示す4色のインクを用いて、ピエゾ振動子によってインクを吐

出させるオンデマンド型インクジェット記録ヘッド（インク吐出オリフィス径 65 μ m、ピエゾ振動子駆動電圧 75V、周波数 2 KHz）を有する記録装置を使用して、インクジェット記録を行ない、記録画像を得た。

インクの種類（染料）	組成（重量部）			
	染料	ジエチレングリコール	ポリエチレングリコール #200	水
黄インク（C.I.73シブドリイエロー23）	2	20	15	85
赤インク（C.I.73シブドリレッド82）	2	20	15	85
青インク（C.I.73シブドリブルー88）	2	20	15	85
黒インク（C.I.73シブドリブラック18）	2	20	15	85

このようにして得られた記録画像を以下の4項目について試験し、被記録材の記録適性及び光学機器適性の評価を行なった。

- (1) インク定着性は、インクジェット記録後、記録物を室温下に放置し、記録された部分に指で触れてもインクが指に付着せずに、充分乾燥するまでの時間を測定して評価した。
- (2) インクドット濃度は、JIS K 7650を印字マイクロドットに応用して、さくらマイクロデンシトメーターPDX-5（小西六写真工業（株）社製）を用いて黒ドットについて測定した。
- (3) OHP適性は、被記録材の光学機器適性の代表例として測定したもので、記録画像をOHPによりスクリーンに投影し、目視により観察して判定したもので、非記録部が明るく、記録画像のOD（オプティカルデンシティー）が高く、コントラストの高い野明で見易い投影画像の得られるものを○、非記録部がやや暗く、記録画像のODがやや低く、ピッチ幅0.5mm、太さ0.25mmの線が明確に判別できないものを△、

非記録部がかなり暗く、記録画像のODがかなり低く、ピッチ幅 1 μ m、太さ0.3 μ mの線が明確に判別できないもの、あるいは非記録部と記録画像の見分けがつかないものをXとした。

(4) 直線透過率は、光学機器適性の評価の1つとしての透光性を評価するために測定したもので、記録実施前の被記録材について、前述の定義に従って、323型日立分光光度計を用いて測定された分光透過率より算出した。

更に以上の結果から、総合評価を行なった。総合評価に於いては、インクジェット記録適性に優れ、かつ十分な透光性を有し、光学機器適性のあるもの(O)と、記録適性は充分であるが、インク定着時間が長く被記録材として不適当であるもの、あるいは記録適性及び光学機器適性に欠けるもの(X)の2種の評価を行なった。

得られた評価結果を表3に示す。

実施例2～7及び比較例2～5

基材として、厚さ75 μ mの透光性の表面親水処理ポリエステルフィルム(デュポン社製)を用

い、インク吸収層として表2に示した組成物のそれぞれをバーコーター法により、インク吸収層の乾燥膜厚が8 μ mとなるように塗布し、これを表2に示した条件で各々乾燥させ6種の本発明の透光性被記録材(実施例2～7)と比較のための被記録材(比較例2～5)を得た。

この得られた被記録材のそれぞれに、実施例1と同様にして4色のインクを用いたインクジェット記録を実施し、記録画像を得た。

このようにして得られた記録画像について、実施例1と同様にして被記録材の記録適性及び光学機器適性を評価した。得られた結果を表3に示す。

表 2

実施例	組 成 分	組成(重量部)
2	ポリウレタンエマルジョン (商品名:アイゼラックス S-1020、 住友化学工業(株)社製)	30
	ポリアクリル酸ソーダ (商品名:ジュリマーAC-10NP、 日本純薬(株)社製)	10
	水	70
3	カゼイン	20
	カルボキシ変性スチレン ブタジエンラテックス (商品名:JSR 0818、 日本合成ゴム(株)社製)	5
	ポリオキシエチレンオクタール フェニルエーテル (商品名:エマルゲン 810、 花王アトラス(株)社製)	5
	水	70
4	ビスフェノールAのEO、 POラジカル付加物 (商品名:ユニオールDAB-800、 日本油研(株)社製)	20
	トリレンジイソシアネート (商品名:スミジュール T-80、 住友バイエルウレタン(株)社製)	30
	酢酸ブチル/トルエン (1/1)	50

表 3

	インク定着時間	インクドット濃度	OH P 適性	直線透過率	総合評価
実施例 1	1 分	1.0	O	82%	O
実施例 2	5 分	1.0	O	82%	O
実施例 3	3 分	1.1	O	82%	O
実施例 4	3 分	1.2	O	82%	O
実施例 5	3 分	1.1	O	82%	O
実施例 6	1 分	1.0	O	82%	O
実施例 7	5 分	1.1	O	82%	O
比較例 1	30 分以上	1.2	O	82%	X
比較例 2	10 分	1.1	O	82%	X
比較例 3	20 分	1.2	O	82%	X
比較例 4	30 分以上	1.2	O	82%	X
比較例 5	10 分	1.0	O	82%	X

手続補正書（自発）

昭和80年 1月18日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示 昭和59年 特許願 第 76557号

2. 発明の名称

被記録材

3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

(100) キヤノン株式会社

4. 代理人

住所 東京都港区赤坂1丁目9番20号

第16興和ビル8階

氏名 井理士(7021) 若 林

電話 (585) 1862

5. 補正の対象

明細書の「発明の詳細な説明」の欄。

6. 補正の内容

(1) 明細書第21頁にある表2を以下の表に訂正する。

表 2 特開60-220750(7)

	ケン化度 (mol%)	乾燥条件	インク吸収層組成物
実施例2	88	60℃、20分	PVA-203 (糊クラレ製)
実施例3	88	60℃、20分	PVA-205 (糊クラレ製)
実施例4	88	100℃、10分	PVA-217 (糊クラレ製)
実施例5	88	80℃、10分	PVA-224 (糊クラレ製)
実施例6	81	80℃、10分	PVA-405 (糊クラレ製)
実施例7	80	80℃、10分	PVA-L-2 (糊クラレ製)
比較例1	99.5	80℃、10分	PVA-HC (糊クラレ製)
比較例2	96	80℃、10分	PVA-CST (糊クラレ製)
比較例3	98	80℃、10分	PVA-117 (糊クラレ製)
比較例4	98	100℃、10分	PVA-124 (糊クラレ製)
比較例5	48	80℃、10分	ゴーセファイマー LL-02 (日本合成工業株式会社製)